

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミューチュアル  
 コード番号 2773 URL <http://www.mutual.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉野 尊文

TEL 06-6315-8613

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,337	△24.7	△133	—	△243	—	△137	—
25年3月期第2四半期	4,434	24.0	77	108.3	105	75.0	30	74.9

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 △89百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△18.87	—
25年3月期第2四半期	4.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	10,659	7,200	65.5	960.05
25年3月期	11,295	7,406	63.5	985.31

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 6,987百万円 25年3月期 7,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,003	△7.1	408	△7.1	451	32.3	198	35.3	27.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	7,620,320 株	25年3月期	7,920,320 株
26年3月期2Q	342,433 株	25年3月期	642,433 株
26年3月期2Q	7,277,887 株	25年3月期2Q	7,278,040 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀による金融緩和の効果により、企業収益、個人消費の改善がみられるとともに、東京五輪開催決定により、景気回復への期待感が増す一方、輸入物価の上昇や新興国経済の減速、米国財政問題等の懸念事項もあり、先行きは引き続き不透明感の残る状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは更なる受注獲得に向け、営業開発室を拡充する等営業強化に注力するとともに、平成25年10月4日付で「株式会社鈴木製作所の事業譲受けに関するお知らせ」で発表しましたように、事業再構築をめざし技術部門の強化も進めて参りました。売上高につきましては、大口案件が下期にずれ込んだことにより前年同期比1,097百万円減少いたしました。損益面におきましては、売上高総利益率が原価低減努力により前年同期比2.0ポイント改善いたしました。売上総利益が減収に伴い128百万円減少したことに加え、人件費やサービス費等、販売費及び一般管理費が増加したことで営業損失となりました。また、一部債権において回収不能の懸念があり、貸倒引当金を前連結会計年度末に加え289百万円引当てした結果、経常損益、四半期純損益も損失計上となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

#### ①産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では3,039百万円（前年同期比26.5%減）でありました。このうち製剤機が284百万円（同62.8%増）、検査装置が477百万円（同19.9%増）、部品が339百万円（同12.4%増）と増加いたしました。充填機が459百万円（同61.9%減）、一連ラインが290百万円（同48.3%減）、包装機が628百万円（同25.9%減）、改造・調整・修理が560百万円（同13.2%減）となりました。

#### ②工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高261百万円（前年同期比7.2%増）となりました。内訳では、人造ダイヤモンド145百万円（同17.5%増）、原石81百万円（同0.4%減）、パウダー32百万円（同13.9%増）等となっております。

#### ③その他

その他は、主に坐薬用包装資材の販売で売上高36百万円（前年同期比33.8%減）であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比636百万円減少し、10,659百万円となりました。これは主として仕掛品が514百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金が1,373百万円減少し、貸倒引当金が288百万円増えたことによるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比430百万円減少し、3,459百万円となりました。これは主として、前受金が120百万円増加する一方で、支払手形及び買掛金が360百万円減少したことによるものです。純資産は、主として四半期純損失137百万円、配当金の支払い109百万円により、7,200百万円となり前連結会計年度末比205百万円の減少となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結結果計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は2,305百万円となり、前連結会計年度末より120百万円増加となりました。主な要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は74百万円（前年同期比90.4%減）となりました。これは主に売上債権の減少1,373百万円等により増加したものの、税金等調整前四半期純損失が243百万円であったのに加え、たな卸資産の増加536百万円、仕入債務の減少360百万円等により減少したものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は129百万円（前年同期は130百万円の使用）となりました。これは主に貸付けによる支出132百万円等により減少したものの、有価証券の償還による収入100百万円、投資有価証券の償還による収入100百万円、貸付金の回収による収入69百万円により増加したものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は83百万円（前年同期比70.5%減）となりました。これは主に配当金の支払額109百万円等により減少したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気見通しとしては、国内では、設備投資計画の見直し、海外でも新興国経済の減速や米国財政不安が及ぼす影響等も懸念され、経済見通しが不透明でありますし、(1) 経営成績に関する説明で触れておりますように下期にずれ込んだ大口案件が今期計上見込みであること、一部債権の回収不能懸念に対し引当てした貸倒引当金の損失確定に時間を要すること等ございますので、現状では平成26年3月期通期連結業績予想につきましては、前回発表（平成25年5月17日公表「平成25年3月期 決算短信」）から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,268,455	2,387,922
受取手形及び売掛金	3,489,721	2,115,979
有価証券	202,321	51,708
商品及び製品	66,471	83,643
仕掛品	1,132,163	1,647,019
原材料	57,133	61,279
前渡金	559,715	674,088
繰延税金資産	89,513	199,253
その他	230,712	495,886
貸倒引当金	△2,135	△1,651
流動資産合計	8,094,074	7,715,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	285,681	277,294
土地	476,274	476,274
その他（純額）	47,445	68,099
有形固定資産合計	809,401	821,669
無形固定資産		
のれん	22,821	18,256
その他	21,515	21,227
無形固定資産合計	44,336	39,483
投資その他の資産		
投資有価証券	1,398,399	1,354,208
長期預金	201,500	201,200
その他	1,101,279	1,170,291
貸倒引当金	△353,544	△642,547
投資その他の資産合計	2,347,634	2,083,152
固定資産合計	3,201,373	2,944,306
資産合計	11,295,448	10,659,437

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,450,139	2,089,360
短期借入金	100,000	143,000
1年内返済予定の長期借入金	19,920	19,920
未払法人税等	176,837	4,488
前受金	466,325	586,785
賞与引当金	74,131	82,419
その他	256,534	124,812
流動負債合計	3,543,887	3,050,785
固定負債		
長期借入金	31,940	21,980
退職給付引当金	190,199	200,922
役員退職慰労引当金	64,782	67,214
その他	58,367	118,205
固定負債合計	345,290	408,322
負債合計	3,889,178	3,459,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	695,975	695,975
利益剰余金	5,717,061	5,306,877
自己株式	△350,457	△186,802
株主資本合計	6,732,279	6,485,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,531	463,915
繰延ヘッジ損益	30,298	36,638
為替換算調整勘定	△2,151	863
その他の包括利益累計額合計	438,678	501,417
少数株主持分	235,311	213,161
純資産合計	7,406,269	7,200,328
負債純資産合計	11,295,448	10,659,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,434,351	3,337,233
売上原価	3,647,138	2,678,919
売上総利益	787,212	658,314
販売費及び一般管理費	709,329	792,117
営業利益又は営業損失(△)	77,883	△133,802
営業外収益		
受取利息	12,756	7,377
受取配当金	13,765	14,255
投資有価証券売却益	—	157,128
その他	3,954	8,639
営業外収益合計	30,476	187,400
営業外費用		
支払利息	894	757
投資有価証券評価損	1,035	6,745
貸倒引当金繰入額	—	289,000
その他	442	242
営業外費用合計	2,372	296,744
経常利益又は経常損失(△)	105,987	△243,146
特別利益		
固定資産売却益	37	28
特別利益合計	37	28
特別損失		
固定資産売却損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	106,020	△243,118
法人税、住民税及び事業税	35,904	1,622
法人税等調整額	28,063	△92,803
法人税等合計	63,968	△91,181
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	42,051	△151,937
少数株主利益又は少数株主損失(△)	11,664	△14,575
四半期純利益又は四半期純損失(△)	30,387	△137,361



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	42,051	△151,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,292	53,159
繰延ヘッジ損益	△20,063	6,339
為替換算調整勘定	404	3,015
その他の包括利益合計	△15,365	62,513
四半期包括利益	26,686	△89,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,581	△74,622
少数株主に係る四半期包括利益	11,104	△14,800

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	106,020	△243,118
減価償却費	20,430	21,066
のれん償却額	4,564	4,564
投資有価証券売却益	—	△157,128
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△949	288,518
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,840	8,288
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△24,866	8,114
受取利息及び受取配当金	△26,522	△21,632
支払利息	894	757
売上債権の増減額(△は増加)	972,795	1,373,835
前受金の増減額(△は減少)	18,582	120,460
たな卸資産の増減額(△は増加)	445,537	△536,259
仕入債務の増減額(△は減少)	△799,982	△360,779
前渡金の増減額(△は増加)	47,295	△114,368
その他	△10,615	△164,300
小計	750,343	228,017
利息及び配当金の受取額	20,510	21,604
利息の支払額	△934	△757
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	8,487	△173,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	778,407	74,894
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△70,700	△70,700
定期預金の払戻による収入	72,500	72,500
有価証券の売却による収入	—	49,900
有価証券の償還による収入	30,788	100,000
有形固定資産の取得による支出	△5,930	△24,380
投資有価証券の取得による支出	△37,283	△55,923
投資有価証券の売却による収入	—	26,147
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
貸付けによる支出	△549,000	△132,009
貸付金の回収による収入	440,462	69,355
その他	△10,921	△4,949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,084	129,941
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△145,000	43,000
長期借入金の返済による支出	△9,960	△9,960
配当金の支払額	△123,593	△109,168
少数株主への配当金の支払額	△4,350	△7,350
その他	△809	△166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283,712	△83,644
現金及び現金同等物に係る換算差額	△110	△223
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	364,499	120,966
現金及び現金同等物の期首残高	1,148,878	2,184,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,513,377	2,305,522

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高(千円)	4,135,379	243,932	4,379,312	55,038	4,434,351	—	4,434,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高(千円)	—	—	—	—	—	—	—
計	4,135,379	243,932	4,379,312	55,038	4,434,351	—	4,434,351
セグメント利益	263,668	32,113	295,782	13,644	309,426	△231,543	77,883

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△231,543千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高(千円)	3,039,196	261,587	3,300,783	36,450	3,337,233	—	3,337,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高(千円)	—	—	—	—	—	—	—
計	3,039,196	261,587	3,300,783	36,450	3,337,233	—	3,337,233
セグメント利益	73,789	43,090	116,880	1,803	118,683	△252,485	△133,802

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△252,485千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。